

## 長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	076 -	事業名	児童館利用促進事業		担当部課	子ども部子ども未来課		
基本情報	第5次総合計画・基本方針	✓ 人がいきいきとつながるまち	会計区分	一般会計				
	まちづくり行程表・フラッグ	✓ 「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～		予算区分(款 - 項 - 目)				
	第6次総合計画・基本目標	✓ 子どもが元気に育つまち	3-2-6 児童館費					
	法定受託事務の有無	—						
	その他(関係計画、要綱等)	✓ 児童福祉法第40条						
	事業開始の背景、経緯等	児童福祉法の施行により、児童館は地域における子どもの余暇活動の拠点として、不特定多数の地域の子どもたちに対して、健全な遊びを提供し、健全育成活動を行う場として、社会的に認知された。						
事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 児童に健全な遊び場を与え、その健康を増進し、情操を豊かにするとともに、異年齢児、地域との交流の場とすることを目的とする。 (概要) 青少年児童センター、上郷児童館、下山児童館、長久手西児童館及び長久手南児童館を運営する。						
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 乳幼児及びその保護者、小学生を中心とした児童						
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 児童の発達を増進し、地域住民と連携した活動を進め、活性化を図る。						
	事業を構成する事務事業(B票)	① 児童館活動事業	拡充	④				
	② 児童館まつり実施事業	拡充	⑤					
	③		⑥					
コスト推移	項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
	事業費(A)	千円	予算	1,121	914	1,044	982	993
			決算	752	839	751	785	
	人件費(B)	千円	決算	3,666	4,736	5,316	8,425	
	総コスト(A)+(B)	千円	決算	4,418	5,575	6,067	9,210	
成果推移	成果指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
	A 入館者数	人	目標	80,000	85,000	90,000	90,000	90,000
			実績	90,624	90,822	88,480	85,134	
	B 児童館まつり協力者の満足度	%	目標	—	—	80	85	90
			実績	—	—	92	95	
	C		目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 児童館の入館者数 前年度実績及び過去の伸び率より設定した								
B 各会場において、子どもスタッフやボランティアへのアンケートを実施することにより課題を見つけ、改善を図る。								
C								
環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 尾張旭市、日進市(複合施設)、東郷町にて、同様の取組を実施 児童館において運営の参考としていた、国策定の「児童館ガイドライン」が平成30年10月に改定された。							
評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 平成27年度から市が洞児児童館が開館し、全小学校区にて児童館を配置できた(6小学校区に6児童館)。また、児童館まつりにおいては、平成28年度から市が洞児児童館も開催会場とし、市内4会場での開催となった。						
	過去5年間の振り返り	(過去5年間の事業の進捗状況、改善状況などの振り返り) 市が洞児児童館が開館し、各小学校区に児童館が配置された(H26.4)。長期休暇中における児童館の開館時間を8時30分とし、従来より30分早くした(H28.4)。地域の住民等による児童館活動の補助や環境整備の手伝い等を通して児童および幼児とその保護者との世代間交流を図ることを目的とした、児童館おたすけたいを開始した(H28.10)						
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 今後も、子どもの居場所に対するニーズは高まると考えられるため、今後も地域に身近な事業を実施することで、児童館を地域における子育て支援の拠点とするとともに、子どもの健全育成の場とする。						
今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 国が策定し、平成30年10月に改正された「児童館ガイドライン」を参考に、引き続き児童館運営を展開していく。また児童館まつりについては、会場ごとに課題を見つけることで、改善を図っていく。						
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 旧長湫北保育園の跡地に、平成31年度中に複合機能を持った児童館を整備する。 農村環境改善センターの多目的広場に、平成33年度を目標に児童館を整備する。						

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・児童館まつりと地域との連携を検討するとともに、事業規模及び内容の見直しを検討してください。</li><li>・児童館まつりについて、例えば各児童課ごとに開催するなど、大掛かりになりすぎないように、また職員の負担軽減を図ってください。</li><li>・児童館の運営・管理面の民間活用について、研究・検討してください。</li></ul>
------	-------------------------	---

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	児童館利用促進事業		担当部課	子ども部子ども未来課	決算書ページ	—
事務事業名	①	児童館活動事業	予算区分	3-2-6 児童館費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	昭和49年	終了(予定)年度	—		

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 乳幼児及びその保護者、児童を対象に、児童厚生員が料理教室、人形劇公演、お楽しみ遠足等を実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 児童館が地域の子育ての拠点となり、発達の増進を図るとともに、豊かな人間性の発達を促す。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
事業費	千円	予算 決算	471 226	237 206	235 179	235 180	246
<備考：事業費の主な内訳(30年度(2018))>							
(1) 人形劇団等公演委託						120	千円
(2) 賄材料費						41	千円
(3) 修繕料						12	千円

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
入館者数	人	見込	80,000	85,000	90,000	90,000	90,000
		実績	90,624	90,822	88,480	85,134	
		見込 実績					
<備考：活動の概要(30年度(2018))> 子どもたちに人気のある陶芸教室、料理教室、人形劇観賞会等の全体行事及び工作、ゲーム等の各館行事を企画、運営した。6館で様々な行事を開催し、多くの子どもたちに健全な遊びの場を提供した。							

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

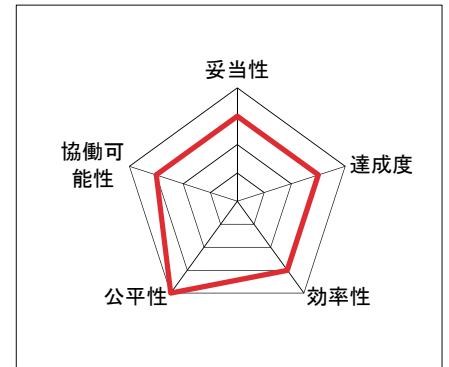
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 今度も、子どもの居場所に対するニーズは高まると考えられる
--

## 5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況
(前年度【予算額】) (今年度【予算額】) (増減額)
235 千円 246 千円 11 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》
・前年度【今後の方向性】 拡充
・前年度【コメント】
・児童館おたすけたいを広めるとともに地域の人とつながった児童館運営を目指す。
・乳幼児、子育て中の保護者向けイベントを実施し、子育て支援の充実を図る。
・各種研修に参加し、児童厚生員としてのスキルアップに繋げる。
・他児童館を視察することにより、技術やアイデアを学び、児童館行事の充実を目指す。
(3) 改善状況
(何をどのような状態に改善したのか) 幼児向けの児童館だよりやイベントだよりを作成し、平日午前中の乳幼児向けおよび子育て中の保護者向けイベントの充実を図っている。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	4
協働可能性	3



### 【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数(人) ※児童館おたすけたい登録者数				
区分	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
見込	20	30	30	40
実績	25	57	33	
(2) 協働の状況(30年度(2018))				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など) 児童館おたすけたいは、児童館の環境整備や活動補助など、児童館のちょっとした困り事を地域の方に助けていただいている。また、児童館サークル活動では、地域の方にボランティアで指導いただいている。				

### 【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 国において、平成23年3月に策定し、児童館において運営の参考とされていた「児童館ガイドライン」について、昨今の子どもをめぐる福祉的な課題への対応や、子育て支援に対する児童館のもつ機能への期待等をふまえ、平成30年10月に改正を行った。
---

### 【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など) ・児童館おたすけたいの取り組みの見直しをする ・児童館の乳幼児利用率の向上を図る ・職員向けに新児童館ガイドラインの講習会を行う
--

## 7. 今後の方向性

拡充
----

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	児童館利用促進事業		担当部課	子ども部子ども未来課	決算書ページ	—
事務事業名	②	児童館まつり実施事業	予算区分	3-2-6 児童館費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	平成3年	終了(予定)年度	—		

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 乳幼児及びその保護者、小学生を中心とした児童に対し、こどもスタッフ会議を実施し、児童館まつりを実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 子どものボランティアの育成・援助を図る。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
事業費	千円	予算	650	677	809	747	747
		決算	526	633	572	605	
<備考：事業費の主な内訳(30年度(2018))>							
(1) 児童館まつりイベント委託						295 千円	
(2) 消耗品費						222 千円	
(3) 食糧費						85 千円	

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
児童館まつり協力の者の満足度	%	見込			80.0	85.0	90.0
		実績			92.2	95.0	
		見込					
		実績					
<備考：活動の概要(30年度(2018))>							
5月19日(土)に、こどもスタッフを始めとしたボランティアスタッフとともに市内4会場で児童館まつりを開催し、2,004人の参加者があった。まつりによって、子どもたちに健全な遊びを与え、交流を深め、児童館の存在や活動内容に関心を持たせた。							

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

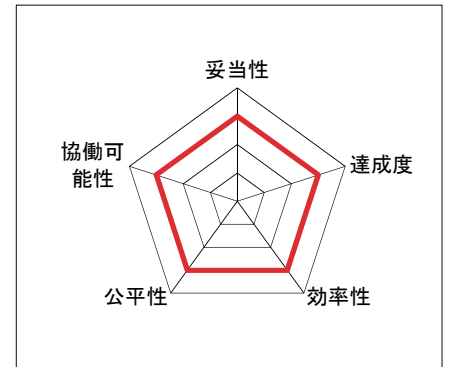
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
今後も、子どもスタッフを始め、地域住民の企画運営への参加促進に努める。

## 5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況
(前年度【予算額】) (今年度【予算額】) (増減額)
747 千円 747 千円 0 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》
・前年度【今後の方向性】 拡充
・前年度【コメント】
児童館まつりの各会場の参加人数や状況、スタッフやボランティアへのアンケート実施により、事業の改善を図っていききたい。
(3) 改善状況
(何をどのような状態に改善したのか)
アンケート等により会場ごとに児童館まつりの振り返りを行うことにより、例えば、青少年児童センターの靴置き場を増やし、入口の混雑を解消することができた等、前年度不具合が発生した案件について改善を図ることができた。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



### 【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数(人)				
区分	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
見込	250	250	250	250
実績	231	231	252	
(2) 協働の状況(30年度(2018))				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				
こどもスタッフ(105人参加)と児童館職員がアイデアを出し合って内容を計画し、子ども主体の児童館まつりとなりました。				

### 【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)
子どもスタッフと児童館職員がアイデアを出し合って内容を計画し、子どもスタッフ主体の児童館まつりを実施することができた。

### 【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など)
平成31年度に北児童館の整備を行うことから、平成32年度からは北児童館も新たに児童館まつりの会場となり、市内5カ所での開催となる予定。 また、中長期的に児童館まつりの地域(各児童館)での開催や地域住民の一層の参画を検討したい。

## 7. 今後の方向性

**拡充**